

メセナひらかた・ウィル 男女共同参画社会を目指す市民企画講座

人間の性の多様性を認め合う社会に

わたしはおとこ？おんな？だれが好き？

わたしたちの性のありかたは男・女と簡単に2つに分けることはできません。"性"はひじょうに多様で、ひとりの人間の個性でもあります。しかし残念なことに、この社会では性的マイノリティ(性的少数者)と呼ばれる人たち—LGBT：レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーなどは、いまだじゅうぶんに自分らしさを手に入れられない現状があります。家庭、学校、地域や職場など、あなたの身近なところに、確実に、性的マイノリティの人たちは存在しています。あなたの大切な人のために、性的マイノリティの人権問題を一緒に考えませんか。

日時 2008年2月11日(月・祝) 午後1時30分～4時30分 (午後1時開場)

場所 メセナひらかた5階 視聴覚室

主な内容

- あいさつ 関西外国語大学 教授 Jeffrey T. Hester (Ph.D., 社会文化人類学)
- 講演「人間の性の多様性を認め合う社会に」前大阪府議会議員 尾辻 かな子氏

尾辻かな子(1974年生). 同志社大学卒. 2003年に大阪府議で最年少として初当選後、日本で初めて同性愛者であることを公表した議員として活躍. 韓国留学、アジアジュニア空手道大会優勝の経験をもつ.
著書『カミングアウト～自分らしさを見つける旅』(講談社)
<http://www.otsuji-k.com/>



● LGBT当事者・友人・家族の体験から

● 座談会

司会 青木 孝嗣 (RAFIQ[在日難民との共生ネットワーク]元共同代表)

企画 サークル "Cielarko"^{チェルアルコ} <http://blog.goo.ne.jp/cielarko/> ✉ cielarko@mail.goo.ne.jp

協力 LGBTの家族と友人をつなぐ会 <http://lgbt.web.fc2.com/>

参加申込 メセナひらかた・ウィルへ電話またはFAXでお申し込みください
ニックネーム等での登録で構いません。1月10日(木)受付開始。先着70名まで。無料
当日参加も可能ですが、定員を超えた場合はご入場できない場合があります。
あらかじめご了承ください。

保育サービス 1歳以上の未就学児対象。先着6名まで。料金1人400円

手話通訳 手話による通訳がつきます

メセナひらかた 男女共生フロア・ウィル

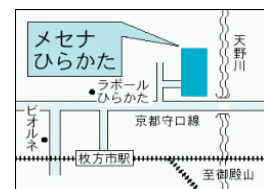
"will"は英語で「必ずする」という強い意志を示しています。2006年6月フロアの愛称募集で選ばれました。

〒573-1191 枚方市新町2-1-5 メセナひらかた会館 3階

TEL 072-843-5636

FAX 072-843-5637

京阪枚方市駅より徒歩約8分



講演者からのメッセージ

あなたと私をわける線があるとしたら、それはいったいどこにあるのでしょうか？その線は、目に見えますか？異性愛者と同性愛者、分けているのは、性的指向、誰を恋愛対象にするのか、外からは見えないもの、見えないがゆえに、身近にはいないと思われ、ステレオタイプな視線でみられてきました。そして当事者自身、ホモフォビア(同性愛嫌悪)を抱え、自分自身を受け入れることに悩んでしまう、まわりにカミングアウト(同性愛者であることを公表)することをためらうといった壁にぶつかってきました。誰かを分けてしまう線、世の中にはいろいろな線がありますが、その線を越えて、お互いにわかりあえる社会に変わっていくために私たちは何ができるのでしょうか。違いを排除する社会から、違いを豊かさに変えられる社会へ、講座で一緒に考えていければと思います。

尾辻 かな子 前大阪府議会議員

講演者の友人からのメッセージ

"おつつん"って呼んで下さい-と言う尾辻かな子さんと初めて会ったのは、私が大学生のとき。当時の"おつつん"はレズビアンであることをカミングアウトし、色々な社会運動にコミットし始めたばかり。私は"おつつん"に対して、どちらかと言うとうつむきがちな、引っ込み思案な印象さえ持っていました。

それから10年近くが経ちます。セクシュアル・マイノリティの問題に精力的に取り組み、日本の政治の舞台で「見える」存在としてくれた"おつつん"を友人として誇らしく思います。いきおい、性的指向の問題は「あくまでプライベートな問題」として片付けられがちです。しかし、好きな人と一緒にいること、暮らすこと、それは生活であり、社会につながり、そして政治につながるのです。

多様性を認め合う-言葉にすると簡単ですが、理想の実現にはまだまだ多くの人の協力が必要です。誰もが人間らしく生きられる豊かな社会を目指し、みなさん一緒に、この社会を耕していきましょう。

野々上 愛 高槻市民

性的マイノリティとしてカミングアウトして国政にもチャレンジした尾辻さんの話は、いつも分かりやすく現状を踏まえて、どのようにしていったらいいのかの展望までが見えてきます。性的マイノリティの問題とは、実は、みな性の性、ジェンダー、セクシュアリティなどにおける、人権と自由を考えることなのですね。

伊田 広行 立命館大学非常勤講師

講座企画者からのメッセージ

僕は、今回の講演会企画の代表者です。ふだんは、ごく普通に名前を名乗って生活しています。でも、今回の講演会では、僕は自分の名前を出すことはしていません。なぜだか、わかりますか？

僕は、同性愛者です。性的マイノリティ以外の友達(異性愛者)には、親しい数名にしかカミングアウト(自分が、社会一般に誤解や偏見を受けている、同性愛者など少数派の主義・立場であることを公表すること)をしていません。本当は一番伝えたい親や家族にも、僕が同性愛者であることを伝えていません。それくらい、この社会にある差別や偏見が怖いのです。

でも、この社会を変える努力はしたい。この思いから、今回、僕は枚方市の男女共同参画の市民企画講座に応募しました。初めはなかなか、手伝ってくれる人や講演会に出てくれる人を探すのは難しく、何人かの人には断られました。それでも、日本で同性愛者の議員として初めてカミングアウトした尾辻かな子さんが快く講演を引き受けてくださいました。さらに、講演に先立つ挨拶として、関西外国語大学のジェフ先生が社会文化人類学の立場からお話してくださいました。当事者の体験談としては、ゲイ雑誌『パディ』の「ナイスパディ・グランプリ」を受賞したこともある方に、また、当事者にカミングアウトを受けた友人の立場から、大阪ミナミでクラブDJとして活躍している、僕の友達のI人に話してもらえることになりました。

マイノリティが生きやすい社会は、マジョリティにとっても生きやすい社会のはずです。多様性を受け入れることのできる社会は素敵で優しい社会だと思いませんか？僕もいつか自分のことを臆せず話せる社会にしたいと思っています。あなたの参加をお待ちしています。

チェールアルコ

T. H. サークル"Cielarko"代表・枚方市民